

「今後の取組の検討結果」

1 仕事と介護に関する調査結果概要

5年以内に54%の社員が介護を行い始める可能性がある。

62%の方が出来る限り普通通り働き、仕事と介護を両立させたいと回答。

公的介護制度の周知率は7割、地域包括支援センターに関しては8割の社員が存在を知らなかった。

2 課題（相談内容や調査結果等により判明した課題）

【課題1】5年以内に介護の可能性のある社員が多く、しかし現在介護を行っている社員が少ないため、介護に対しての備え方がわからないため漠然とした不安がある。

【課題2】社内制度に関する周知率が低い。

【課題3】公的な制度に関する知識はほぼ全員もっているものの、支援センター等の利用方法などには疎く、介護の実務に関する知識が少ない。

3 働き方の見直しに関する検討状況

検討方法

プロジェクトチームを立ち上げ具体的な取り組み内容を検討した。

＜メンバー＞ リーダー 介護相談員
メンバー 営業担当者

検討経過

①10月

介護に関する課題を出すためのアンケート調査を開始する。

介護に関する実務的な知識を得させるために介護相談窓口を開設する。

②11月

アンケート調査で判明した課題とその結果、

介護に関する社内規程を社内全体会議、電子掲示板にて周知する。

③12月

12月10日 具体的な取り組み内容を議論し、決定した。

4 取組計画

【目標1】

社内介護制度の周知および情報交換会の開催

(計画期間等：平成28年度から毎年1回程度開催)

【目標2】

介護相談員との個人面談の実施

(計画期間等：平成28年1月から希望者のみ随時実施)